

※ 網掛けのない部分が計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

基本目標 「健康で、豊かな心を持ち、たくましく生きる子どもの育成」を目指して、感性を磨き、社会的知性と実践力を身に付ける。

目指す児童像 ○進んで勉強する子ども（かしこく）
 ○思いやりのある子ども ○進んで働く子ども（なかよく）
 ○健康で明るい子ども（たくましく）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

「地域が学校～地域に学び，地域とともに伸びる城山中央小学校」
 <児童にとって> ○学びのある学校 ○仲間のいる学校 ○楽しい学校
 <保護者・地域にとって> ○安心して子どもを通わせることができる学校

3 学校経営の方針（中期的視点） ※地域学校園内で共通する方針は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- (1) 城山中央小学校の歴史と伝統を踏まえ，長年にわたって築いた教育の精神や校風を継承し，その向上と発展に努める。
- (2) 学校経営の中核に確かな学力の定着・向上を位置づけ，校内研修を推進し，教員一人一人の授業力の向上を図る。
- (3) 家庭・地域社会との連携に努めるとともに，社会の多様な要請の中で自己実現が図れるような，地域に根ざした開かれた学校づくりに努める。
- (4) 規範意識や倫理観などの社会性を身に付け，豊かな心，たくましい体をもった子どもの育成に努める。
- (5) 教育公務員としての使命を自覚し，和と協働の精神を大切にして，専門職にふさわしい資質の向上を目指す。

4 今年度の重点目標（短期的視点） ※地域学校園内で共通する目標は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

【学校運営】
 学び合う楽しさ，豊かな心の育成を目指して，協調と協働の学校運営を推進する
 ～みんなが楽しい，城山中央小学校～

【学習指導】
 適切に課題を設定し，自力で解決したり，友達と意見交換して考えを深めたりする能力の育成

【道徳教育（児童生徒指導）】
 思いやりの心を持ち，物事を正しく判断し，主体的な行動ができる児童の育成
 ～児童と児童，児童と教師のコミュニケーションをより深めることを通して～

【健康（保険安全・食育）・体力】
 自分の体に関心を持ち，進んで健康の保持増進と体力の向上に励む児童の育成
 ～教科体育や体育的行事の充実と，児童が体を動かしたくなる活動の推進～

5 自己評価（評価項目のAは市共通，Bは学校独自を示す。）

※地域学校園内で共通する取組は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。
 ※「主な具体的な取組」の方向性には，A拡充 B継続 C縮小・廃止，を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価								
学校運営の状況	A1 学校は，活気があり，明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 全体アンケートの「自分は，今の学校が好きである」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 適正な学校運営に努める。 ・創意と調和のある「子どもを生かす」教育の実践 ・学校評価を生かした保護者，地域と一体化した学校づくりの推進 ② 児童・保護者・教師・地域の想いを把握し，学校運営に生かす。 ・学校運営推進委員会の設置	B	A1 【達成状況】 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>児童</td> <td>92.1%↓</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>95.2%↑</td> </tr> <tr> <td>地域住民</td> <td>90.9%↑</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100%→</td> </tr> </table>	児童	92.1%↓	保護者	95.2%↑	地域住民	90.9%↑	教職員	100%→
				児童	92.1%↓							
保護者	95.2%↑											
地域住民	90.9%↑											
教職員	100%→											
				【次年度の方針】 児童は肯定的回答の割合がやや昨年度を下回ったが，保護者は継続して上がってきている。また，地域住民も上がっているため，現								

A2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。

【数値指標】

全体アンケートの「先生方は、大切なことを熱心に指導してくれる」
⇒児童の肯定的回答 90%以上
⇒保護者の肯定的回答 90%以上

A3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。

【数値指標】

全体アンケートの「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」
⇒教職員の肯定的回答 80%以上
⇒児童の肯定的回答 90%以上

A4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。

【数値指標】

全体アンケートの「先生方の授業は、分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」
⇒児童の肯定的回答 90%以上
⇒保護者の肯定的回答 80%以上

A5 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている

【数値指標】

全体アンケートの「私の学校生活や様々な活動は充実している」
⇒児童の肯定的回答 90%以上

① 教職員の資質と能力の向上に努める。

- ・教育に対する理念、使命感、豊かな人間性、教育実践力、動向を察知した対応力等の向上
- ・「報告・連絡・相談」の徹底
- ・学年交換授業や教科担任制の推進
- ・教師一人一人の授業力の向上

① 基本的な生活習慣と規範意識の育成に努める。

- ・生命や人権尊重を題材とした授業（道徳・学級活動等）の実施
- ・「城央小のよい子」を活用した、統一的・継続的な指導

② 家庭・地域、関係諸機関との連携

① 学習指導の工夫・改善を図る。

- ・指導技術の確立と授業時数の確保
- ・習熟度別学習や少人数指導・TT指導等の効果的实施
- ・学習内容定着度調査などの活用
- ・かがやきルームの有効活用及び指導体制の充実
- ・授業力向上のための校内研修の充実

② 家庭・地域への広報活動の工夫

① マネジメントサイクルを活用した特色ある教育課程の編成に努める。

- ・「児童が生き生きと活動できたか」という視点からの学校行事等の反省・改善

を行っていることを今後もさらに継続・推進していきたい。

A2 【達成状況】

児童	97.4%↓
保護者	93.7%↓
地域住民	90%↑
教職員	100%→

【次年度の方針】

児童・保護者の肯定的回答は数値指標を上回っているが、昨年度よりはやや下がっているため、教師の授業力の向上に努め、学校の取組をさらに発信していきたい。

A3 【達成状況】

児童	88.1%↓
保護者	90%↑
地域住民	100%↑
教職員	95.4%↓

【次年度の方針】

児童のきまりやマナーに対する意識が高められ、自分自身を客観的に見られるようになった。今後も、生活目標に対する共通理解や「かがやく城央っ子」の実施をくふうしながら継続的に実施する。また、生活目標の内容の振り返りの仕方、保護者への広報活動の工夫改善を今後もしていく。

A4 【達成状況】

児童	95.6%↓
保護者	88%↑
地域住民	90.9%↑
教職員	100%→

【次年度の方針】

児童の肯定的な回答は、昨年度をやや下回ったが、保護者や地域住民の割合は、かなり上回り、家庭や地域への広報活動が浸透してきている。今後も、分かる授業・きめ細やかな指導の充実を図る。

A5 【達成状況】

児童	94.2%↑
保護者	96.7%↑
地域住民	100%↑
教職員	95.4%↓

【次年度の方針】

児童・保護者・地域住民の肯定的回答が昨年度を上回った。特に児童と保護者の肯定的回答率は、年々上がってきている。次年度も学校行事を精選しながら、児童が生き生きと活動できるよう継続して実施していきたい。

A6 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている。

【数値指標】

全体アンケートの「学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している」

⇒保護者の肯定的回答 80%

⇒地域住民の肯定的回答 80%

① 保護者や地域に信頼される学校づくりに努める。

・学校の内外に開かれた学級、学校づくり

・うつのみやオープンスクール、授業参観、学校自由参観等の効果的な実施

・学校便り、ホームページなどによる積極的な情報発信

・保護者、地域の方との積極的なコミュニケーション

A6 【達成状況】

児童	
保護者	96.2% ↓
地域住民	90.9% ↓
教職員	100% →

【次年度の方針】

保護者の肯定的回答は、ほとんど変わらなかったが、地域住民の割合が下回った。今後は、学校の公開の仕方や情報の発信の仕方を工夫し、地域に信頼される学校づくりに努めたい。

A7 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った地域の学校づくりが推進されている。

【数値指標】

全体アンケートの「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して教育活動や学校運営の充実を図っている」

⇒保護者の肯定的回答 80%

⇒地域住民の肯定的回答 80%

① 地域人材の協力や企業の専門性を生かした学習を推進する。

・「町の先生」の年間指導計画への位置づけ

・各育成会や地域行事への積極的な参加

・小中一貫教育に関わる活動の計画的な実施

・家庭・地域・企業等と連携した活動の広報活動の工夫・充実

A7 【達成状況】

児童	96% ↑
保護者	94.3% ↑
地域住民	100% ↑
教職員	100% →

【次年度の方針】

児童・保護者・地域住民の肯定的な回答は、昨年を上回っている。今年も町の先生や地域人材の支援、さらに企業の出前授業等により、効果的な学習が展開された。次年度もさらに連携・協力を図り、地域の学校づくりを推進していきたい。

A8 校内は、学習にふさわしい環境となっている。

【数値指標】

全体アンケートの「学校は、荷物や備品などが整理整頓されるなど、学習しやすい環境である」

⇒保護者の肯定的回答 80%

⇒地域住民の肯定的回答 80%

① まごころ広場や花壇、教材園を中心とした環境整備に努める。

・日常の清掃活動やまごころ清掃(校内や公園・通学路等)の工夫改善と充実

・児童と協働した環境整備の工夫

・教室環境の見直しと改善

② P T Aやボランティアの協力を得て、環境整備に努める。

・トイレやオープンスペースの美化

A8 【達成状況】

児童	93.1% ↓
保護者	95.7% ↑
地域住民	90.9% ↓
教職員	90.9% →

【次年度の方針】

今年度も昨年と同様、4者の肯定的回答が90%を超えた。清掃の仕方の工夫改善や教室環境の見直しを今後も図りたい。校内美化・環境整備の充実・工夫に今後も努めていきたい。

B1 教師は適切な家庭学習を提示し、家庭と協力して基礎学力の向上に努めている。

【数値指標】

全体アンケートの「自分は、毎日きちんと家庭で学習を進めている。」

⇒児童の肯定的回答 80%以上

⇒保護者の肯定的回答 80%

① 家庭と連携して、学習習慣の確立を図る。

・「家庭学習のしかた」「自主学習のガイド」に基づいた、発達段階に応じた宿題や自主学習の工夫

② 「学習習慣定着強化週間」を年3回設定して、家庭と連携した指導に努める。

B1 【達成状況】

児童	85.6%
保護者	70%
地域住民	81.8%
教職員	100%

【次年度の方針】

家庭学習の定着については、課題をかかえていると言える。各種たよりや懇談で保護者の啓蒙を図るとともに、児童には個別に声をかけ、定着を図るようにする。

教育活動の状況	<p>A9 児童は、進んであいさつをしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童は、時と場に応じたあいさつをしている」 ⇒保護者の肯定的回答 80% ⇒地域住民の肯定的回答 80%</p>	<p>① 児童の創意を生かした「あいさつ運動」を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭及び地域協議会と連携した地域ぐるみの「あいさつ運動」の展開 ・「あいさつ運動」の内容・方法の工夫・改善（いつでも、どこでも、だれにでも） 	A	<p>A9 【達成状況】</p> <table border="1"> <tr><td>児童</td><td>92.8%↑</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>75.9%↑</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td>72.7%↓</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>95.4%↓</td></tr> </table> <p>【次年度の方針】 児童・教職員では90%を超えたが、保護者・地域住民が不十分である。あいさつの励行について家庭への広報活動や協力のあり方の工夫改善を図る。具体的には、PTA 広報誌や学校だよりなどで、まごころサポーターへのあいさつをするように働きかける。</p>	児童	92.8%↑	保護者	75.9%↑	地域住民	72.7%↓	教職員	95.4%↓
	児童	92.8%↑										
	保護者	75.9%↑										
地域住民	72.7%↓											
教職員	95.4%↓											
生活	<p>A10 児童は、正しい言葉づかいをしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童は、時と場に応じた言葉づかいをしている」 ⇒保護者の肯定的回答 70% ⇒地域住民の肯定的回答 70%</p>	<p>① 基本的マナーと状況に応じた言葉づかいの励行に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時と場をとらえた指導の継続（訂正・賞賛） ・「職員室の入り方」等掲示物の作成と活用 ・「礼儀」についての道徳の授業の展開 	B	<p>A10 【達成状況】</p> <table border="1"> <tr><td>児童</td><td>87.4%↑</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>67.9%↑</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td>72.7%↓</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>90.9%↑</td></tr> </table> <p>【次年度の方針】 教職員が言語環境への意識を高める。学校だよりやPTAの広報誌などを使って、正しい言葉づかいの啓発・励行を広める。</p>	児童	87.4%↑	保護者	67.9%↑	地域住民	72.7%↓	教職員	90.9%↑
児童	87.4%↑											
保護者	67.9%↑											
地域住民	72.7%↓											
教職員	90.9%↑											
	<p>B2 児童は、思いやりの気持ちをもって生活している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童は友達にやさしく、思いやりがある。」 ⇒児童の肯定的回答 80% ⇒教職員の肯定的回答 80%</p>	<p>① 一人一人を大切にする人権教育を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権感覚・人権尊重の態度の育成を目指した指導の充実 ・教師一人一人の意識の高揚 ・人権週間・いじめゼロ運動の効果的な実施 <p>② 三あい運動を継続的に実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居がいのある学級づくり ・保護者への啓発活動の実施 	B	<p>B2 【達成状況】</p> <table border="1"> <tr><td>児童</td><td>95.6%</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>90.5%</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td>100%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>100%</td></tr> </table> <p>【次年度の方針】 4者とも肯定的回答が90%を超えているので、一人一人を大切にする指導の成果が表れてきていると思われる。今後も継続して指導していきたい。</p>	児童	95.6%	保護者	90.5%	地域住民	100%	教職員	100%
児童	95.6%											
保護者	90.5%											
地域住民	100%											
教職員	100%											
健康・体力	<p>A11 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童は、休み時間や放課後などに積極的に運動している」 ⇒教職員の肯定的回答 90% ⇒児童の肯定的回答 90%</p>	<p>① 児童が進んで運動に取り組むことのできる体育的環境の整備と体を動かす遊びの日常化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹馬や一輪車などの遊具の整備 ・まごころ広場の活用 ・「みんなで遊ぶ日」の工夫と外遊びの奨励 	B	<p>A11 【達成状況】</p> <table border="1"> <tr><td>児童</td><td>96.4%↑</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>87.6%↓</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td>100%↑</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>100%→</td></tr> </table> <p>【次年度の方針】 4者とも肯定的回答のポイントが高い。今後も体育的環境の整備や体を動かす遊びの日常化を図っていく。まごころ広場も発達段階に応じて有効に活用させたい。</p>	児童	96.4%↑	保護者	87.6%↓	地域住民	100%↑	教職員	100%→
児童	96.4%↑											
保護者	87.6%↓											
地域住民	100%↑											
教職員	100%→											

A12 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。
【数値指標】
全体アンケートの「児童は、好き嫌いなく食べている」
⇒児童の肯定的回答 80%
⇒保護者の肯定的回答 80%

- ① 食の指導や給食指導の充実
・朝食をとっていない児童への指導
・養護教諭、学校栄養士と連携した各教科や特別活動等における食育の実施
・家庭と連携した食の指導
- ② 「すこやか教室」の実施
・町の先生と連携した食育の指導

B3 児童は、自分の健康や体力に関心をもって生活している。
【数値指標】
全体アンケートの「児童は、健康に気を付け、目あてをもって運動している」
⇒児童の肯定的回答 80%
⇒保護者の肯定的回答 80%

- ① 家庭と連携して、健康の保持・増進に努める。
・健康診断結果の適切な処置
・手洗い・うがいなどの衛生的な生活習慣の確立
- ② 体力向上のための工夫・改善に努める。
・各種検定や全校生で取り組む強化月間の実施
・体育の授業、体育的行事を核とした体力づくりの実践
・元気っ子体力テストの活用

学 習 A13 児童は、進んで学習に取り組んでいる。
【数値指標】
全体アンケートの「児童は授業中に進んで話し合うなど、積極的に学習している」
⇒教職員の肯定的回答 80%
⇒保護者の肯定的回答 80%

- ① 基礎・基本の確実な定着を図る。
・少人数指導、習熟度別学習等の工夫
・話の聞き方や発表の仕方など徹底
・「城央小の学習の仕方」に基づいた基本的な学習態度の徹底
- ② 児童の学習意欲を高め、共に学び合う授業の展開を図る。
・学習意欲を喚起する工夫
・共に学び合う学習展開の工夫

A14 児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。
【数値指標】
全体アンケートの「児童は授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している」
⇒教職員の肯定的回答 80%
⇒保護者の肯定的回答 80%

- ① 学び合いを重視し、「学ぶ楽しさ」と「考えるおもしろさ」を味わわせながら、思考力の育成を図る。
・話の聞き方や発表の仕方などの掲示物の作成と活用
・話す力・聞く力・学び合う力の向上を目指す授業の工夫
・共に学び合う学習活動の工夫
- ② 「わかる授業」の推進
・明確な課題の提示と板書等の工夫
・個に応じた指導
・教師の自主的、自発的研修の推進

A12 【達成状況】

児童	81.3%↑
保護者	71%↓
地域住民	100%
教職員	95.2%↑

B 【次年度の方針】

「もう一口食べよう」運動を年間を通して実施する。また、給食の振り返りカードなどを通して児童のがんばりを保護者にも伝える。実態を把握した上で個別指導を行う。町の先生・養護教諭・栄養士・担任との連携を図って指導していく。

B3 【達成状況】

児童	89.2%
保護者	66.6%
地域住民	80%
教職員	95.4%

B 【次年度の方針】

衛生的な生活習慣をさらに確立できるように指導を継続する。また、各種がんばりカード検定カードなどを活用した取り組みを保護者に伝えるなどして連携を図る。さらに、体育的環境の整備や体を動かす遊びの日常化を図っていく。

A13 【達成状況】

児童	92.1%↑
保護者	89.4%↓
地域住民	81.8%↓
教職員	95.2%↑

B 【次年度の方針】

児童の肯定的な割合は6%上回ったが、保護者や地域住民は5%程度下回った。引き続き「城央小のきまり」や「話し合いのステップ1・2・3」を活用して、学習習慣の定着や学び合う意欲の向上を図るとともに、その様子を各種たよりなどで知らせていくようにする。

A14 【達成状況】

児童	91.3%↑
保護者	91.7%↑
地域住民	90.9%↑
教職員	100%→

B 【次年度の方針】

すべてにおいて昨年度を上回った。引き続き学び合える授業、分かる授業の展開を心がけ、活気がある中にも落ち着いた学習ができる雰囲気を作っていくようにする。

	<p>B4 児童は、読書の習慣が身に付き、楽しんで読書をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童は、進んで学習に取り組む、読書を楽しんでいる。」一人当たりの1か月の読書量⇒10冊以上 ⇒児童の肯定的回答 80% ⇒保護者の肯定的回答 80%</p>	<p>① 読書活動の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校一斉、教師と児童の朝の読書の徹底 ・各学年推薦図書20冊選定 ・ボランティアによる読み聞かせの実施 ・月10冊以上に多読者賞の表彰 ・家庭と連携した家読の推進 ・図書室の整備など ・児童の読書と保護者を結び付ける工夫 	A	<p>B4【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td>児童</td> <td>82.4%↑</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>52.9%↓</td> </tr> <tr> <td>地域住民</td> <td>90.9%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>95.4%→</td> </tr> </table> <p>【次年度の方針】 児童の肯定的回答は若干上回ったが、保護者は25%も下回った。学校では、よく読書をするが、家庭ではあまりしないと考えられる。学校では、さらに読書に親しませながら、家庭でも読むように働きかける。また、図書だより等で読書をする児童の姿を伝え、家庭での読書についても啓蒙を図るようにする。</p>	児童	82.4%↑	保護者	52.9%↓	地域住民	90.9%	教職員	95.4%→
児童	82.4%↑											
保護者	52.9%↓											
地域住民	90.9%											
教職員	95.4%→											
本校の特色・課題等	<p>B5 学校は、危機管理意識を高め、保護者や地域、駐在所などとの連携を図り、安全で安心な学校づくりに努めている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は、保護者・地域住民との連携を図り、安心して安全な学校づくりに努めている」 ⇒教職員の肯定的回答 90% ⇒保護者の肯定的回答 80% ⇒地域住民の肯定的回答 80%</p>	<p>① 危機管理意識の高揚を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な登校・下校指導の実施 ・避難訓練、防犯教室の実施 ・スクールサポーター、防犯ボランティア「まごころサポーター」等との連携 	B	<p>B5【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td>児童</td> <td></td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>92.4%↑</td> </tr> <tr> <td>地域住民</td> <td>81.8%↓</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>95.4%↓</td> </tr> </table> <p>【次年度の方針】 安全ボランティア（まごころサポーター）の増員を図る。（例えば、1・3年の昔遊びや昔体験で来校した祖父母や高齢者へ呼びかけるなど） また、学校はさらに危機管理意識を高め、保護者や地域・駐在所などと連携を強めていきたい。そして、学校の取組を随時発信していきたい。</p>	児童		保護者	92.4%↑	地域住民	81.8%↓	教職員	95.4%↓
児童												
保護者	92.4%↑											
地域住民	81.8%↓											
教職員	95.4%↓											

〔総合的な評価〕

※地域学校園内で共通する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

・学校生活に関する A1～A5 の項目の児童の肯定的回答をみるとほとんどが数値指標を上回っており、児童は、明るくいきいきと学校生活を送っている様子がわかる。しかし、A3 のきまりやマナーの遵守については、意識は高まっているものの指標に達していないので、自己点検ができるような指導の工夫をしていきたい。

○家庭学習については、保護者の肯定的回答が数値指標を下回っている。家庭の理解・協力が得られるように、学年便りや各種懇談等で、学校で指導していることについて保護者に知らせるなどして関心を高める働きかけをしながら定着を図っていききたい。

○生活面では、あいさつや言葉づかいについての肯定的回答が、児童・教職員は約90%、保護者・地域は約70%と差がある。学校では、あいさつ運動の継続化により児童の意識も向上し、比較的よくできるようになってきているが、家庭や地域では十分とはいえない状況である。来年度は、地域学校園であいさつ運動も実施する予定なので、さらにあいさつを場を広げていけるよう、引き続き指導していきたい。

・学習面では、「落ち着いた学習に取り組んでいる」についての肯定的回答が児童・保護者・地域住民・教職員の4者とも90%を上回っている。これは、教員が、学び合える授業・分かる授業の展開に努めてきた成果であると言える。来年度も教員一人一人の授業力向上に取り組んでいきたい。

・読書については、「読書の習慣が身に付き、楽しんで読書をしている」という項目の児童の肯定的回答は昨年度を若干上回っているのに対し、保護者の肯定的回答は大きく下回ってしまった。昨年度の保護者の肯定的評価も低かったため、保護者への啓蒙が課題となっている。今後は、読書の習慣化のために行っている学校の様々な取組を紹介して、家庭とさらに連携を図って「家読」の推進に努めていきたい。

6 学校関係者評価

○家庭学習については、低・中・高学年で保護者の関わり方が変わってくると思われる。低学年の段階では、保護者が学習の仕方を子どもと確認しながら丁寧に見てやる必要があるが、学年が上がるにつれて自主学習の割合が多くなってくると、どのようなアドバイスをすればよいかかわからない保護者も多いと思われる。また、反抗期に入る時期の子どもへの声のかけ方も難しくなってくる。学校は「家庭学習のしかた」等の手引きを工夫し、保護者が参考にできるようなものにするよいのではないだろうか。家庭では、宿題をやったかどうかの点検に終わりがちだが、内容の点検もしていくことも必要であると思われる。

○あいさつについては、先に言える児童が増えてきていると感じている。なかには、性格的なものもあるのか、恥ずかしい気持ちがあり、あいさつをしようとしてもなかなか声が出ない子もいるようだ。登校時のあいさつについては、登校班によって差がある、班長があいさつのできる班は、下級生も続いてできている。まごころサポーターからの声かけも、ありがたい。最近の子どもたちの生活の様子を見ると友達の家を行き来して遊ぶなどの経験も少なくなってきたり、あいさつする場も減ってきていると思われる。地域内のコミュニケーションがすこしでも図れるように、地域の大人が必要に応じて言葉かけをしていきたい。

○読書については、1人当たりが1か月に読む冊数が昨年と比べて約5冊ほど増えていることがすばらしい。家庭での読書については、保護者が、児童が読書している姿を見る時間がないことや児童が読書をする時間が取れないことが考えられる。読書の宿題や親子読書などの機会を多くするのも一つの方法であろう。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※地域学校園内で共通する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

☆ 地域に信頼され、地域の核となる学校づくりを推進するために、学校を取り巻く、児童・保護者・地域・教職員の想いを吸い上げ、それらを検討し、下記のような4つのプロジェクトを組織して、全職員が学校経営に参画できる工夫を行い、次年度の学校ビジョンに反映させる。

